

全圧連会報

第 61 号



第10回通常総会を開催

第10回通常総会が去る5月26日(水)、リモート会議にて開催され、令和2年度の事業報告および決算報告、また令和3年度の事業計画(案)および同予算案が原案どおり承認可決されました。令和3年度の全圧連は、経年からの課題に継続して取り組むとともに、担い手不足を背景とした圧送施工の作業環境改善と生産性の向上、技能者の処遇向上を目指し、下記の7つを重点施策として事業を推進してまいります。

令和3年度 重点施策

1. 全圧連組織の強化

適正な圧送料金の浸透と会員企業による優先施行を確固たるものとするためには、組織の拡大と組織力の強化が不可欠である。

全圧連は、未加入・未組織地域の加入・組織化に向けた活動に継続して取り組むとともに、単協活動の充実・活性化に向けた活動を実施する。

2. 適正な圧送工事原価の確保

不足する若手技能者の確保と育成、コンクリートポンプ車の計画的な設備更新に加え、時間外労働の削減や週休2日制の推進などの働き方改革への対応、福利厚生充実の充実を図るためにも、適正な圧送工事原価を確保し、かつ維持・定着させることが必要である。

全圧連は、元請や対外関係先への取引適正化の実現に向けた活動を推進するとともに、業界内における働き方改革に対応した適確な原価積算と工事代金への適正な転嫁を確立するための活動を推進する。

3. 安全施工の推進と労働災害の防止

全圧連は創設以来、圧送業界における労働災害の防止に向けた安全・技術教育事業を推進しているが、圧送作業における重大事故は依然として発生しており、同種の事故の繰り返しが後を絶たないことを憂慮している。

重大事故の発生は、人命を失うだけでなく、企業の存続を危うくし、業界の信頼を損なうことになりかねない。

全圧連では、安全施工のより一層の推進を図り、労働災害を防止するため、効果ある教育カリキュラムを研究・制作し活用するとともに、関連業界とも連携した労働安全衛生活動を展開して行く。

4. 生産性向上および作業環境・労働条件の改善

わが国のコンクリート圧送業は特有のスタイルを有しており、建設技能者が減少していく将来を見据えて工法の改革が必要であると考えている。

全圧連では、元請や対外関係先とも連携を図り、生産性向上に資する圧送工法の普及に向けた方策を研究していく。

5. 若手技能者当の確保・育成

若手技能者の確保・定着のためには、魅力ある業種であることが重要な要件である。全圧連は、業界のブランド力向上、圧送技能者の処遇向上に向けた施策を企画・検討し展開するとともに、特定技能外国人受入れに向けた訓練・試験に関する事業、社会保険加入促進、団体の共済事業である福祉共済制度の加入促進など、福利厚生の向上に向けた事業を展開する。

6. 有資格者の育成と技能向上、評価・活用の推進

コンクリート圧送業における有資格者の優先起用は、組織と会員の努力により確立しつつあるものの、全国の建設現場にまで浸透したとは言い難い状況にある。

全圧連は、コンクリート圧送工事の品質確保と安全施工を重視し、各資格の取得支援と育成、技能向上に尽力するとともに、国土交通省が導入する技能者の能力評価制度・企業の施工能力の評価制度の実施団体として積極的に事業に取り組み、有資格者の配置と活用PRに継続して努めていく。

7. 会員企業の評価・起用の推進

全圧連に会員として加入することの価値は、各種講習や資格取得、情報収集はもちろんのこと、各種工事に優先的に起用されることが期待されなければならない。全圧連は、安全施工と技能者育成に取り組む会員企業の優位性を、各種の施策で広報する活動に取り組んで行く。

なお、本来総会で開催される予定であった優秀従業員等の表彰につきましては、表彰状および副賞の発送をもって表彰式に代えさせていただきました。表彰を受けた方々を以下よりご紹介いたします。まことにおめでとうございます。

令和3年度 全圧連表彰

(以下 敬称略、順不同)

■ 優秀従業員表彰 (勤続20年以上、かつコンクリート圧送施工技能士1級の方)

高橋 幸男	(株)佐藤海事(秋田)	池田 繁	(株)ヤマコン(山形)
佐々木 正裕	(株)佐藤海事(秋田)	千葉 治	(株)ヤマコン宮城(宮城)
唐津 勇輝	(株)ヤマコン秋田(秋田)	梅津 和之	(株)ヤマコン関東支店(埼玉)
大友 広美	(株)ヤマコン秋田(秋田)	前田 武	(有)川端工業(福井)

■ 優良従業員表彰 (勤続15年以上、かつコンクリート圧送施工技能士2級以上の方)

成田 等志	(株)佐藤海事(秋田)	添田 由宏	(株)ヤマコン福島支店(福島)
佐々木 照雄	(株)ヤマコン秋田(秋田)	安部 定知	(株)愛幸建設(山陰)
宮崎 宏治	(株)ヤマコン秋田(秋田)		

■ 特別表彰 (優秀施工者 国土交通大臣顕彰 (建設マスター) 候補者)

林 健太郎	(株)早水圧送(埼玉)	平塚 昌弘	(株)おおふで(近畿)
斎藤 慎	大富運輸(株)(静岡)		

■ 特別表彰 (青年優秀施工者 不動産・建設経済局長顕彰 (建設ジュニアマスター) 候補者)

堀井 信之	(株)ヤマコン秋田(秋田)	渡辺 昌秀	富士コンクリートサービス(株)(静岡)
-------	---------------	-------	---------------------

■ 役員および職員表彰

山口 哲	前単協理事(神奈川)	國広 真弓	前単協事務局長(山口)
荒井 康博	全単協理事長(神奈川)	近藤 大樹	前全圧連理事(九州)
赤松 昭二	前全圧連理事(近畿)		

令和3・4年度 全圧連役員

(以下 敬称略)

会 長	長谷川 員典 (東海)		
副 会 長	佐藤 隆彦 (山形)	土井 豊実 (千葉)	吉良 五男 (九州)
専務理事	北口 延郎 (全圧連)		
常務理事	田中 徹 (神奈川)	共田 昌一 (近畿)	
理 事	桃木 辰成 (北海道)	浅沼 佳味 (岩手)	遠藤 光一郎 (宮城)
	秋山一彦 (神奈川)	和田 重夫 (長野)	高橋 孝一 (静岡)
	大筆 賢太郎 (近畿)	深水 輝雄 (近畿)	安井 貢 (島根)
	黒木 誠恵 (九州)	田中 博文 (九州)	
監 事	佐藤 巖 (茨城)	里見 俊介 (群馬)	沢山 良一 (員外)

表紙の写真

株式会社金堀重機 (福島)・「社員のかっこいい写真プロジェクト」

事務局：今回の会報の表紙写真は、(株)金堀重機様 (福島) にご提供いただきました。

当社では、建設現場で輝く社員たちの姿を一般社会の方々に見ていただくと思い、プロのカメラマンに撮影をお願いして、「かっこいい姿」を写真に収める「社員のかっこいい写真プロジェクト」に取り組んでいます。

プロのカメラマンに撮影してもらおうと、写真の表情に本人たちの良いところがあふれ、想像以上にかっこいい写真になりました。

ゆくゆくは会社内にミニギャラリーを作ろうと思っています。

(株)金堀重機 代表取締役社長 春田一真



令和3年度の登録コンクリート圧送基幹技能者登録講習・試験(8月開催)の開催を延期いたします。

令和3年度の登録コンクリート圧送基幹技能者登録講習・試験につきましては、8月28(土)～31日(火)の日程で開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況の悪化により、参加される方々の健康と安全を最優先に考え、開催を延期させていただくこととなりました。

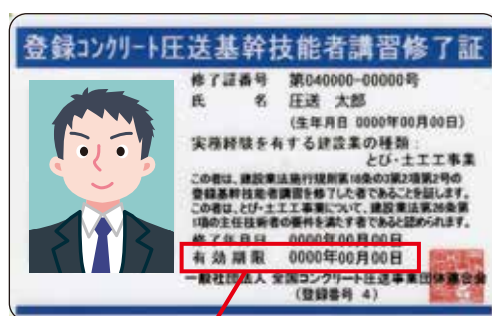
延期した講習・試験については、本年度内の開催を予定しておりますが、日程につきましては決定次第、お知らせさせていただきます。受講・受験にお申込みいただいていた方におかれましては、ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございませんが、何とぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

■ 開催日程 ~~8月28(土)～8月31日(火)~~ → **年度内の開催に延期**
(2022年3月まで)

登録コンクリート圧送基幹技能者 令和3年度 更新講習 開催日程のご案内

登録コンクリート圧送基幹技能者をはじめとする登録基幹技能者制度は、建設業法施行規則に基づく国土交通大臣認可による資格制度であり、登録基幹技能者としての知識と能力を担保するために、5年に1度の更新講習を行うことが定められています。

2021(令和3)年度は、E-ラーニング(通信教育)のみの実施で、以下の日程で開催いたします。



2021(令和3)年度の更新講習は、有効期限が **2021・2022年度**の方が対象です
(平成表記の方は、**平成33・34年度**が対象)

インターネットによるビデオ講習(通信教育)カリキュラム

受講対象者 登録コンクリート圧送基幹技能者講習修了証(カード)に記載の有効期限が2021～2022年度(平成表記の場合は平成33～34年度)の方で、受講申込み時点で圧送基幹技能者として従事している方。

ビデオ講習・試験 9月4日(土)～9月23日(木)の間に受講・受験して下さい。

補講 9月24日(金)～10月3日(日)の間に受講下さい。

上記の各期間に、インターネット上の講習受講ページにアクセスいただき、2時間のビデオ講習と、30分の試験、30分の補講を受けていただきます。講習受講ページのURL、アクセスに必要なIDとパスワードは、受講申込時に各受講者にお知らせしています。



★ パソコンやタブレット等からの受講が可能です

国土交通省、都道府県、政令指定都市の総合評価における活用実績等

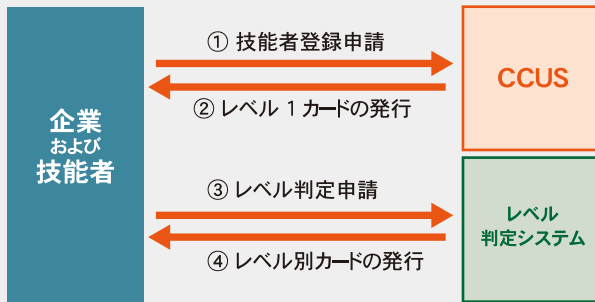
発注機関		工事件数					評価方法等	
		H27	H28	H29	H30	R1	評価項目	配点
国土交通省	北海道開発局	11	39	257	273	459	施工能力評価型：企業	登録基幹技能者の配置 1点
	東北地方整備局	920	1,193	1,011	1,120	1,084	企業の施工能力	登録基幹技能者の配置 1点
	関東地方整備局	185	287	560	447	318	企業の技術力(自由設定項目)	登録基幹技能者の配置 1点
	北陸地方整備局	2	12	170	184	200	企業の施工能力等 (登録基幹技能者の配置)	登録基幹技能者の配置 1点
	中部地方整備局	736	1,071	917	960	1,046	企業の能力 (担当技術者の資格)	登録基幹技能者の配置 1点
	近畿地方整備局	262	299	414	338	417	企業の施工能力 (現場従事技能者の配置)	登録基幹技能者の配置 1～2点 (総合評価のタイプにより、1工事につき最大2～3点)
	中国地方整備局	676	685	732	541	539	企業の施工能力	登録基幹技能者を2名以上配置:1点 登録基幹技能者を1名配置:0.5点 (1工事につき最大1点まで)
	四国地方整備局	334	426	381	351	420	その他の企業評価	登録基幹技能者の配置 約1点
	九州地方整備局	993	1,210	783	1,000	1,202	企業の能力等	登録基幹技能者を3名配置:2点 登録基幹技能者を2名配置:1.5点 登録基幹技能者を1名配置:1点 (1工事につき最大2点まで)
	沖縄総合事務局	121	153	126	98	97	企業の能力等	登録基幹技能者の配置 0.5～0.8点
	合計	4,240	5,375	5,351	5,312	5,782		
都道府県	北海道	159	211	227	285	218	担い手の育成・確保	登録基幹技能者の配置 0.5点
	秋田県	—	7	166	149	179	登録基幹技能者の配置	登録基幹技能者の配置 2点
	茨城県	317	303	500	658	631	地域貢献度	登録基幹技能者の配置 1点
	埼玉県	—	—	—	64	96	企業の技術能力	登録基幹技能者の配置 0.5点
	神奈川県	1	4	6	8	4	企業の社会性・信頼性	登録基幹技能者の配置 1点
	新潟県	7	6	6	10	34	企業の技術力	登録基幹技能者の配置 0.5点
	富山県	9	15	10	12	14	登録基幹技能者の配置	登録基幹技能者の配置 1点
	長野県	15	16	45	32	37	配置技術者	登録基幹技能者の配置 0.5点
	静岡県	49	61	38	38	39	企業の施工能力	登録基幹技能者の配置 1点
	三重県	0	2	2	1	1	企業の施工能力	登録基幹技能者の配置 5点 (最大15点)
	滋賀県	58	83	33	67	34	技術者等の能力	登録基幹技能者の配置 1点
	京都府	10	12	5	3	9	登録基幹技能者の活用	登録基幹技能者の配置 1点
	大阪府	20	12	21	非公表	22	企業の施工能力	登録基幹技能者の配置 0.3点 (最大0.9点)
	島根県	15	12	9	11	20	地域貢献度	登録基幹技能者の配置 1点
	広島県	—	—	—	2	4	企業の施工能力	登録基幹技能者の配置 1点
	徳島県	—	22	17	20	21	企業の施工能力	登録基幹技能者の配置 2点
	高知県	—	—	—	1	0	地域性・社会性	登録基幹技能者の配置 5点
	長崎県	90	103	122	165	267	企業の施工能力	登録基幹技能者の配置 0.1点 (最大0.6点)
	熊本県	10	11	23	16	56	企業の施工能力	登録基幹技能者の配置 1点 (型式により0.5点)
	大分県	157	232	242	252	45	配置予定技術者の能力	登録基幹技能者の配置 0.2点
沖縄県	—	40	81	129	119	企業の能力等	登録基幹技能者の配置 1点	
合計	917	1,152	1,553	1,923	1,850			
政令指定都市	札幌市	5	5	43	49	22	企業の評価	登録基幹技能者の雇用 0.5点
	仙台市	138	136	131	166	140	企業の技術的能力の評価	登録基幹技能者の配置 1点
	相模原市	—	—	38	43	31	企業の社会性・信頼性	登録基幹技能者の配置 0.5点
	静岡市	54	56	85	62	106	企業の社会性・信頼性	登録基幹技能者の配置 1点
	熊本市	—	—	118	110	0	企業の評価	登録基幹技能者の雇用 0.5点
	合計	197	197	415	430	299		

建設キャリアアップシステム（CCUS）における「レベル判定システム」システム改修の間、技能者のレベル判定を全圧連で受け付けます。

国土交通省は、建設キャリアアップシステム(CCUS)登録技能者のレベル判定手続きの運用方法を見直し、これまでCCUSとは別システムで運用されてきた「レベル判定システム」の判定受付を6月16日に停止し、CCUSとレベル判定の手続きのワンストップ化を目指し、システム改修を行うこととなりました。

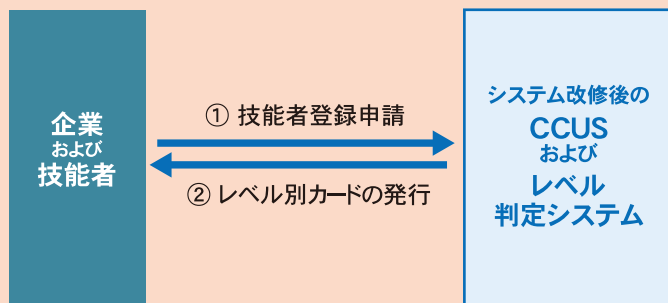
今のところ、ワンストップ化までのスケジュールは未定とされていますが、システム改修が完了するまでの間、圧送職種の技能者の方のレベル判定につきましては、**全圧連にてレベル判定を受け付けます**。当面は、経営事項審査の技術力審査に使用するための証明書を発行し、システム側の準備が整い次第、全圧連経由で技能レベル別のカード発行が開始されます。

【これまでの CCUS およびレベル判定システムの流れ】



・CCUSとレベル判定システムが別のシステム運用であるため、まず技能者登録をしてレベル1のカードを受け取ってから、レベル判定システムにレベル判定の申請をしなければならず、企業・技能者の手間が二重の状況で負担が大きい。

【システム改修後の CCUS およびレベル判定システムの流れ】



・技能者登録をすると、すでに経験や資格を有している技能者にはレベル1のカードを経ずにレベル2～4のカードが発行されるようになる。

全圧連へのレベル判定の申請の開始時期につきましては、今後、国交省との調整を経て決定次第、ホームページ・メール等にてお知らせ申し上げます(9月以降を予定)。今しばらく、お待ちくださいますようお願い申し上げます。

建設技能者の経験と技能を正しく評価する新たな制度。

建設キャリアアップシステムとは

技能者一人ひとりの資格や現場の就業履歴などを業界横断的に登録・蓄積する仕組みです。技能者と事業者の双方にメリットがあります。

経験や資格に応じてレベルアップ!

技能者の経験や知識・技能、マネジメント能力に応じてレベル1から4のカードを発行。能力が上がるとレベルも上がり、カードの色が変わります。

※今後、専門工事集団等によって職種ごとに能力評価基準が策定され、その中でレベルアップに必要な経験や経験年数等が設定されます。



QRコードによる コンクリート圧送工事業の 見える化をスタートします!!

CPVS Concrete Pump Visualization System

コンクリート圧送工事における労働災害を防止し、安全で高品質な施工の確保に寄与することを目的としており、発注者や元請会社から高い評価を得ることが期待されます。

近年、専門工事業者や技能者の施工能力を、発注者や元請会社、広く社会に開示する「見える化」施策が進められています。

この「QRコードによるコンクリート圧送工事業の見える化」は、コンクリートポンプ車に貼り付けられたQRコード、または圧送技能者が保持するQRコードを建設現場で読み取ることで、コンクリートポンプ車の法定点検・検査記録表、または圧送技能者の保有する資格証などを、その場で確認することができるシステムです。



詳しい内容・お申込み方法は、全圧連のホームページをご覧ください。

「時間外労働に関するアンケート調査」を実施します。 調査票のご回答・ご提出のご協力をお願いします。

働き方改革関連法の施行により、2024年4月より、時間外労働の上限規制が適用されます。圧送業などの現場への回送時間が必要となる業種については、現場で作業時間が規制を満たしたとしても、回送時間と自社での点検・準備等の時間を含めると、上限規制をクリアすることが難しい業態です。

全圧連では、技能労働者の確保と労働時間の上限規制の遵守に努めつつ、それでもクリアできない部分があれば、何らかの対応策を求めなければならないと考えております。

つきましては、対応策の実施に向けた基礎資料とするため、圧送業界における現在の時間外労働の実態を把握するアンケート調査を夏以降に実施いたします。

本アンケート調査へのご回答ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



第28回理事会・代表者会議を開催

第 28 回理事会・代表者会議が 4 月 23 日(金)にリモート会議にて開催されました。

会議では、令和 2 年度事業報告および収支決算報告について、令和 3 年度事業計画(案)および予算(案)について、職員給与規定の改定について、総会表彰候補者について、任期満了に伴う役員改選について、令和 3 年度通常総会について審議が行われたほか、各単協の状況報告と意見交換が行われました。

第69回技術委員会を開催

第 69 回技術委員会が 7 月 9 日(金)にリモート会議にて開催されました。

会議では、本年度の全国統一安全・技術講習会カリキュラムの審議を兼ねた講師研修のほか、令和 2～4 年度のコンクリートポンプ危険再認識教育カリキュラムの講師研修、ベトナム語版特別教育講習用教材の配付について、本年度の登録基幹技能者講習・試験について、エアコンプレッサ(空気洗浄)取扱い時の注意喚起について、QR コードによる圧送工事業の見える化事業について、建設キャリアアップシステム レベル判定システム停止と今後の対応について、特定技能外国人 訓練・試験の準備・実施状況について、2022 年版事故防止カレンダーについて審議が行われたほか、出席者による意見交換が行われました。

第63回経営委員会を開催

第 63 回経営委員会が 8 月 3 日(火)にリモート会議にて開催されました。

会議では、令和 3 年度事業計画について、経営実態調査の回答状況中間報告について、QR コードを活用した圧送業の見える化事業、専門工事業の施工能力の見える化～評価基準の再検討について、時間外労働に関するアンケート調査の実施と陳情活動について、建設機械等損料表改定調査への協力について、全圧連ホームページへの各社のカラーリングの掲載について、2022 年版全圧連事故防止カレンダーについて、特定技能外国人受入事業の状況について、福祉共済制度の加入状況について審議が行われたほか、各単協の状況報告と意見交換が行われました。

全圧連ホームページ会員名簿への各社ポンプ車のカラーリングの掲載について

全圧連のホームページ (<https://www.zenatsuren.com>) の会員名簿ページにおいて、各社のポンプ車のカラーリングの掲載を開始します。

コンクリートポンプ車の「ブームを伸ばして、そのブームでコンクリートを送る」というポンプ車の機能面でのイメージに加えて、子供や興味のある方々に向けて、会員企業の多様なカラーリングのポンプ車を紹介し、これまでとは違った角度からもポンプ車を知っていただくことを目的としています。

全圧連ホームページ・会員名簿ページへのカラーリング掲載を希望する場合は、メール配信した申込書に基づき、全圧連事務局にお申し込みください。



会員名簿ページのカラーリング掲載のサンプル

2021年度 講習会等のカリキュラム

● 全圧連 全国統一安全・技術講習会カリキュラム

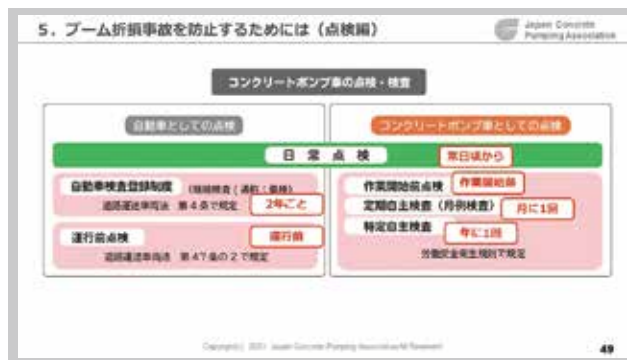
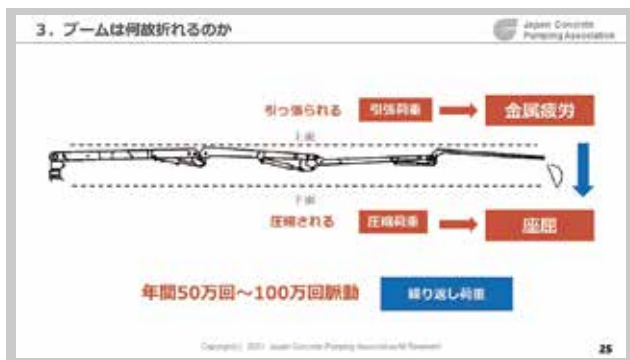
本年度の全国統一・安全技術講習会は、以下の講習カリキュラムにて実施いたします。

■ ブーム折損事故の防止

ブームが折損するメカニズムや折損を防止するための使い方・点検方法を学習する。

■ コンクリート圧送工事における災害事故報告 2020

同類の事故防止に努めるべく、直近1年間に全圧連に報告された事故事例10件につき、原因と対策を学習する。



全国統一安全・技術講習会カリキュラムの講習資料の一例

● コンクリートポンプ作業従事者危険再認識教育(2020～2022年度)

2020(令和2)年度～2022(令和4)年度のコンクリートポンプ作業従事者危険再認識教育は、以下の講習カリキュラムにて実施いたします。

■ コンクリートポンプ車の公道走行

最近の交通事故の発生状況・コンクリートポンプ車の特性と運転・あってはならない運転の3つのテーマを学習する。



コンクリートポンプ危険再認識教育カリキュラムの講習資料の一例

本年度の講習会の開催については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として、従来の集合形式での開催のほか、会員企業各社ごとに教育を行う形式で開催いただいております。なお、集合教育・各社教育のいずれの場合でも、以下の点にご留意いただきますようお願い申し上げます。

★ ソーシャルディスタンスの確保

- ・受講者と受講者の間は2メートル以上(最低1メートル)話して座席を配置してください。

★ 受講者および事業所内の保健衛生対策の徹底

- ・マスク着用・手洗い・うがいの徹底
- ・消毒液の設置など

★ 共用物の衛生管理・換気の徹底

- ・ドアノブ、座席、机、利用設備、機材等の消毒
- ・入口や窓等2方向以上を開放し、毎時2回以上の換気

★ 感染の発生に備えた情報収集

- ・新型コロナ接触確認アプリやSNS等を活用した、周囲の感染状況等の把握
- ・感染状況によっては延期・中止の判断をする

全圧連福祉共済制度

ぜひご加入ください

制度の特徴

- ①お手頃な掛金で大きな保障
- ②業務上・業務外を問わず 24 時間保障
- ③医師の審査はなく告知書扱いで加入可能

制度の内容、加入申込み方法については、
全圧連事務局へお問い合わせ下さい

★全圧連福祉共済制度は、平成4年12月に発足し、今日まで名実ともに全国の全圧連会員の相互扶助による共済制度として運営しており、現在174社、1,334名の会員の皆さまに加入いただいております。

★全圧連福祉共済制度は、会員企業の共同救済＝相互扶助を制度化したものです。さまざまな災難に対する経済的損失の補填と生活の安定を目的としたものであり、全圧連会員が「相互に助け合う」という精神が宿っています。

★将来発生するかもしれない事故に備え、会員があらかじめ一定の金額を拠出して協同の財産を準備し、万一の事態が発生したときにはそこから共済金を支払います。つまり、会員の誰かが困ったときに、他の会員が全体で助けるという制度です。

★全圧連の会員であれば、従業員だけでなく事業主・会社役員、単協事務局の役職員も加入することができ、業務時間を問わず24時間保障されます。

草野球の試合中、
転倒して骨折、
15日間入院しました



不慮の事故による**入院**の場合、
1口につき1,500円を入院日数
分(120日限度)給付します。

従業員が
亡くなりました

病気等による死亡の場合、
1口につき200万円の給付。
不慮の事故による死亡の場合は、
1口につき300万円を給付します。

★これまで不慮の事故により20日以上通院された際に支払われる全圧連見舞金制度の通院見舞金について、「20日以上通院」との条件を緩和し、「**3日以上**の通院」との条件に変更しました。

不慮の事故による**通院**の場合、
1口につき5,000円の通院見舞金をお支払いします。

ポンプ車の整備中に
転倒して腕を怪我して、
3日間通院しました。



会員・賛助会員異動のお知らせ

事務局移転 (2021年4月より)

秋田県コンクリート圧送協会

〒012-1115 秋田県雄勝郡羽後町足田字七窪29-4 TEL 0183-78-7700 FAX 0183-62-2790

移転 (2021年8月30日より)

プツマイスタージャパン株式会社

〒289-1143 千葉県八街市八街い27番1 TEL 043-497-5454 FAX 043-497-5456

建設業界の皆様へ

国が作った退職金制度、建退共に参加しませんか

福祉の増進と企業の振興のための退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

◎法律に基づき運営される国が作った制度

◎建退共加入し、履行している場合は「経営事項審査」で加点評価

◎国からの財政上の支援（国の助成により掛金の一部が免除）

特長

◎掛金は全額非課税（損金または必要経費に算入できます）

◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給

◎加入の手続きは簡単（各都道府県の建退共支部で加入）

建退共の掛金が
電子申請
で納付可能になりました。

●加入できる事業主
建設業を営む事業主

●対象となる労働者
建設業の現場で働く方

●掛金は
一日 310円

建退共に参加の事業主の皆様へ

建退共制度の利用に当たっては、下記の七点にご留意ください。

- 1 共済証紙及び退職金ポイントは、元請・下請を含めた対象労働者と就労日数に応じた額を金融機関から購入してください。
- 2 公共工事・民間工事を問わず共済手帳に就労状況に応じた共済証紙の貼付と消印又は退職金ポイントによる掛金の充当を忘れずをお願いします。
- 3 掛金の負担は、全額事業主負担となっております。
- 4 被共済者本人に掛金の充当状況を確認させてください。
- 5 共済手帳に共済証紙を250日分貼り終えたらすみやかに更新手続きを行ってください。次回更新時期が記載されている場合は、更新時期が到来したら適宜更新手続きを行ってください。次回更新時期が記載されていない場合は、交付日から2年経過したら適宜更新手続きを行ってください。
- 6 被共済者が事業所を退職したときは、必ず共済手帳をお渡しください。また、退職金の受給資格を有する被共済者に退職金請求のご指導をお願いします。
- 7 被共済者が事業所の代表者又は役員報酬を受けることになった場合は、継続加入することはできません。



独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1丁目24番1号(ニッセイ池袋ビル)
TEL 03-6731-2866(ダイヤルイン) FAX 03-6731-2895

建退共のホームページをぜひ、ごらん下さい。

建退共

検索



3月

- 2日 JAC 第6回理事会(東京)
- 6日 登録基幹技能者追試試験(東京・大阪)
- 9日 建専連 企画委員会④(東京)
- 9日 土木学会 中流動コンクリート施工指針委員会⑧(リモート)
- 12日 JCI 圧送指針作成委員会WG1⑦(リモート)
- 13日 登録基幹技能者更新講習(東京・大阪)
- 17日 建専連理事会④(リモート)
- 18日 第62回経営委員会(リモート)
- 23日 JCI 圧送指針作成委員会全体会議⑤
- 27日 登録基幹技能者認定委員会⑦
- 31日 登録基幹技能者合格発表

4月

- 6日 特定技能外国人 訓練・試験準備会議①(東京)
- 7日 JCI 圧送指針作成委員会WG2⑧(リモート)
- 9日 期末会計監査・監事会(東京)
- 14日 JCI 圧送指針作成委員会WG2⑨(リモート)
- 15日 常務会①(リモート)
- 20日 建設分野特定技能試験委員会①(東京)
- 20日 登録基幹技能者認定委員会①(リモート)
- 23日 第28回理事会・代表者会議(リモート)
- 26日 能力評価制度推進協議会(リモート)
- 27日 特定技能外国人 訓練・試験準備会議②(東京)

5月

- 23日 登録基幹技能者認定委員会②(リモート)
- 26日 第10回通常総会(リモート)
- 27日 特定技能外国人 訓練・試験準備会議③(東京)
- 27日 第69回技術委員会WG(東京)

6月

- 2日 JAC 第4回定時総会(リモート)
- 8日 土木学会 中流動コンクリート施工指針委員会⑧(リモート)
- 9日 建専連 第20回通常総会・理事会①(リモート)
- 19日 登録基幹技能者認定委員会③(リモート)
- 21日 JAC 特定技能コンクリート圧送国内試験(東京)
- 23日 第75回経営委員会WG(リモート)

7月

- 9日 第69回技術委員会WG(東京)
- 10日 登録基幹技能者認定委員会④(リモート)
- 27日 JCI 圧送工法指針作成委員会幹事会(リモート)

8月

- 3日 第63回経営委員会(リモート)
- 4日 常務会②(リモート)
- 6日 登録基幹技能者認定委員会幹事会(東京)
- 9日 建専連 臨時理事会(書面決議)

今後の主な予定

8月

- 19日 JCI 圧送工法指針作成委員会幹事会(リモート)
- 26日 建専連 臨時理事会(東京)
- 29日 登録基幹技能者認定委員会⑤(リモート)

9月

- 1日 JAC 特定技能コンクリート圧送国内試験(福岡)
- 4日 登録基幹技能者 更新講習
インターネット受講開始日
- 7日 建専連 企画委員会①(東京)
- 18日 登録基幹技能者認定委員会⑥(リモート)
- 29日 建専連 理事会②(東京・リモート)

10月

- 14日 常務会③(リモート)
- 21日 第29回理事会・代表者会議(リモート)